

中播磨支部運営委員会

播磨OH!



～HARIMA～

69号

発行責任者
支部長 富田徹矢
機関誌担当 鴨谷和明



2026年3月発行



支部長挨拶

中播磨支部長

富田 徹矢

会員の皆さまには、平素より中播磨支部の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。日々の臨床や地域活動でご多忙の中、研修会への参加や学術活動、地域連携に取り組んでおられる会員お一人おひとりのご尽力が、支部活動の土台そのものです。改めて深く感謝申し上げます。先日開催した新人発表会および症例検討会では、若手ならではの視点や臨床の悩みが数多く共有され、経験年数を越えた活発な意見交換が行われました。終了後の懇親会では、新人の皆さんと直接言葉を交わすことができ、現場の声や思いを知る大変貴重な機会となりました。今後も世代を越えて学び合える場を大切にしていきたいと考えています。

さて、私たち理学療法士を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えています。医療保険制度では、急性期からの早期介入や多職種連携、ADLの維持・向上、栄養・口腔との連携を踏まえたリハビリテーションの質がより重視され、医療は「治す」だけでなく、地域で「治し、支える」ものへとシフトしています。あわせて、医療従事者の処遇改善も進められており、働き続けられる環境づくりが重要となっています。

また、介護保険制度においても、LIFEを活用した科学的介護や、リハビリテーション・栄養・口腔の一体的取組が推進され、「実施したこと」だけでなく、「どのようなアウトカムを生み出したか」が問われる時代となりました。理学療法士には、評価から計画、介入、再評価、情報共有までを、根拠とデータに基づいて回し続ける実践力が求められています。

こうした時代だからこそ、中播磨支部を“現場の困りごとを持ち寄り、学び合い、地域に還元する拠点”として発展させていきたいと考えています。研修や学術活動にとどまらず、病院・在宅・介護・行政・教育の垣根を越えたつながりを大切に、会員の皆さまの実践が前に進む支部活動を目指します。今後も無理のない範囲でご協力いただくとともに、ご意見やご提案がありましたら、どうぞ遠慮なくお寄せください。会員の皆さまと共に、より良い中播磨支部を築いてまいりたいと思いますので、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。





中播磨・西播磨支部合同研修会

医療法人 仁寿会 石川病院 田中匠

2025年11月19日西播磨・中播磨合同研修会を開催いたしました。本研修では、「認知機能障害、認知症について―予防の観点から考える評価・介入―」をテーマに、国立長寿医療研究センター所属の理学療法士である土井剛彦先生を講師としてお招きしました。

講義では、認知症予防の可能性に関する最新の知見をはじめ、認知機能障害に対して理学療法士が果たすべき役割、臨床で活用可能な評価指標および介入の実際について、エビデンスに基づき体系的にご解説いただきました。身体機能と認知機能の関連性、運動療法の意義、早期からの評価の重要性など、日常臨床および地域活動に直結する内容が提示され、参加者にとって大変有意義な研修となりました。

本研修を通じ、理学療法士が認知機能の視点を持ち、予防的アプローチを地域で実践していく重要性を改めて認識する機会となりました。今後も地域に根ざした専門的研修を継続してまいります。



3士会合同啓発活動

社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院 小林優太



2025年11月1日（土）に姫路駅中央地下通路で兵庫県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会の3士会の中播磨支部合同で啓発活動を実施しました。理学療法士会は、握力・膝伸展筋力・10m歩行速度・TUG・片脚立位の測定を実施しました。また、フレイルチェックも行いました。計測には約40名の方に参加して頂きました。また、通行人の方に日本理学療法士協会のパンフレットを配布し、理学療法士の啓発活動を行いました。



世界遺産姫路城マラソン2026

段医院 木村公一

令和8年2月22日(日)に晴天のもと世界遺産姫路城マラソン2026が開催されました。救護所での活動に中播磨支部会員の理学療法士27名が出務し、ランナー観察や応急処置対応に従事しました。例年に比べ気温の高い環境下でのマラソンとなったことで来所されるランナーも非常に多く、時間帯によっては現場が逼迫するような状況もありましたが、活動していただいた先生方のおかげで、重症事案もなく無事に大会を終えることができました。普段の臨床とは違うスポーツ現場でのサポート活動は、有意義な経験になったのではないのでしょうか。今後もスポーツ関連事業を行う際には、会員の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



姫路城マラソン 事前勉強会

令和8年2月12日(木)に世界遺産姫路城マラソン2026に向けた事前勉強会を行いました。姫路城マラソンについての講義と応急処置対応・BLS (Basic Life Support ; 一次救命処置) の実技を行い、マラソン救護におけるイメージをつかんでもらいました。前回大会でも心肺停止事案が発生していたこともあり、救命の重要性について再認識してもらえたことと思います。安全・安心な大会になるよう競技特性や大会運営方針を理解することで、充実したランナーサポートに繋がると思います。

今後もスポーツ活動へのご理解・ご協力よろしく申し上げます。





症例検討会

社会医療法人 松藤会 入江病院 田中佑弥

2026年2月8日(日) 令和7年度中播磨支部新人発表会と同日に、中播磨支部主催症例検討会を開催しました。昨年度に引き続き2度目の対面開催でしたが、新人の先生から経験豊富な先生まで幅広くご参加いただきました。

今年度は運動器をテーマに2演題の発表があり、その後ディスカッションを行いました。日頃の臨床で直面する課題について、さまざまな視点から意見が交わされ、立場や経験年数を越えた活発な議論の場となりました。対面ならではの雰囲気の中で率直な意見交換ができ、学びの多い有意義な時間となりました。

今後もこのような機会を継続し、支部内でのつながりを深めながら、臨床の質の向上につなげていきたいと考えております。



新人発表会

日本赤十字社 姫路赤十字病院 行山頌人

2026年2月8日、令和7年度中播磨支部新人発表会を皆様のご協力のおかげで無事に開催することができました。深く感謝申し上げます。当日は発表者40名、座長を含め聴講者は33名と合計73名の方にご参加いただきました。発表者はそれぞれ準備されたことを発揮できましたでしょうか。上手くいった点や逆に難しかった点など多々あったと思います。この経験を今後の臨床に活かしていただければと思います。また、この会が共に学び助け合える病院を超えた仲間たちと出会える場になっていればとても嬉しいです。来年は先輩の立場として新人理学療法士にアドバイスしに参加頂けることを楽しみにしております。聴講者の方々も、優しく愛のある質問やアドバイス頂きありがとうございました、おかげさまで良い会になりました。来年度も新人発表会開催予定ですので、ぜひ参加頂き、盛り上げて頂ければ幸いです。本当にありがとうございました。





第37回兵庫県理学療法学会 推薦演題決定！！



今年度、第37回兵庫県理学療法学会への支部推薦演題が決定しました。
おめでとうございます！！

日頃の努力が報われた結果かと思えます。

是非とも学会へ挑戦して頂き、自己研鑽を積んでいただけたらと思えます。これから皆様のご活躍を期待しております。

またこの一年を振り返っての感想をお聞きしました。

今回の新人発表では、「膝関節痛による膝折れを呈した脳腫瘍患者について」という症例を通して発表を行いました。発表準備を進める中で、情報量が多い中でもいかに見やすく、簡潔で伝わりやすい内容にまとめるかという点に特に苦労しました。

また、介入内容についても単一の評価だけではなく、患者さんの状態を多角的に捉える包括的な評価を意識しながら整理することが難しく、時間をかけて検討しました。

一方で工夫した点としては、スライドの内容だけに頼るのではなく、聴講されている皆を意識しながら発表し、できるだけ自分の言葉で分かりやすく伝えるよう心掛けました。

実際に発表を終えてみて、準備の大切さや、症例を深く理解することの重要性を改めて実感する貴重な経験となりました。来年発表を行う新人の皆様に伝えたい点としては、早い段階から計画的に準備を進めてほしいと思います。

最後に、新人として理学療法を実施するにあたり、患者さんとの信頼関係があってこそ有効な介入につながると改めて痛感しました。患者さんの希望や思いをしっかり理解し、同じ目標を共有したうえで関わること、そして包括的な評価を行い多角的な視点から状態を捉えることが、より良い理学療法につながると考えています。

今回の新人発表を終え、まず率直に「やり切った」という達成感と、多くの学びを得られた充実感を感じています。テーマ設定から情報収集、スライド作成、発表練習まで、想像以上に時間と労力が必要であり、日々の業務と並行しながら準備を進めることの大変さを実感しました。

特に苦労した点は、自分の考えや臨床での学びを、聞き手に分かりやすく論理的に伝える構成を考えることでした。専門用語に頼りすぎず、根拠を明確に示すことを意識し、何度もスライドを修正しました。また、先輩方に発表練習を見ていただき、客観的なご意見をいただけたことは大きな支えとなりました。

今回の経験を通して、発表は単なる報告の場ではなく、自身の臨床を振り返り、成長につなげる貴重な機会であると実感しました。来年発表する方にも、発表を通して得られる経験を大切にいただければと思います。





今回の発表を通して、他院の先生方や新人の皆様からの多くのご意見や考え方を伺うことができ、大変有意義な経験となりました。普段の臨床とは異なる視点から各疾患について考える機会となり、自身の臨床を振り返る良い契機となりました。

自身の発表では、当初想定していた経過とは異なる経過を辿った場面があり、対応に苦労することもありました。今回の症例ではスティフニーゲイトの原因に着目し、術後早期から歩容修正に取り組みましたが、その過程で二重課題への対応の難しさが新たな課題として生じました。文献を調べながら患者に適した介入方法を検討する過程は非常に難しく、改めて症例に応じた評価と治療の重要性を実感しました。

また、工夫した点として筋電図を用いた評価を行いました。筋電図を活用することで、これまで視診では把握しきれなかった筋活動を客観的に捉えることができ、その結果を踏まえてプログラムの立案や考察に反映することが出来ました。今回ご指摘いただいたように、筋電図を用いた評価方法についてはさらに検討の余地があると感じていますが、本経験を今後の症例検討や臨床に活かしていきたいと考えています。

最後になりますが、日々の臨床で忙しい中でもこのような発表の機会是非常に貴重な経験になると思うので、是非積極的に取り組んでください。



中播磨支部懇親会

かんざき訪問看護ステーション 鴨谷和明

2026年2月8日(日)の新人発表会、症例検討会終了後に支部コミュニティ再編プロジェクトとして、懇親会を開催致しました。昨年同様、懇親会を開催し、参加人数総勢30名と多くの先生方が足を運んでいただきました。経験年数の長い先生を中心に臨床における相談が各テーブルできていたように感じます。お酒を交えながら横とのつながり、縦とのつながりを持ついい機会となったと思います。

今後も懇親会の場を開催し、より一層の支部会員との繋がりを作る機会を作りたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。





令和7年度中播磨支部事業

令和7年度

- ★8月8日 第1回中播磨支部研修会
「もう絶対に転倒させない！」
～脳卒中患者が転倒するメカニズム別の治療アプローチの提案～
参加者：222名
- ★8月8日 新入オリエンテーション
- ★8月22日 新人発表会直前説明会 (参加者：41名)
- ★9月 播磨OH! 68号 発行
- ★11月1日 三士会合同啓発活動 in 姫路駅
- ★11月19日 西播磨・中播磨支部合同研修会
「認知機能障害、認知症について」

令和8年度

- ★2月8日 新人発表会(発表者：40名 聴講者：33名)
症例検討会(発表者：2名 聴講者：45名)
中播磨支部懇親会(参加者：30名)
- ★2月12日 姫路城マラソン事前勉強会
- ★2月22日 世界遺産姫路城マラソン2026
救護所理学療法士：27名





編集後記



春の風が心地よい季節となりましたが、おかわりございませんか。無事に今年度の最終号69号を無事に発行することができました。これも原稿依頼を快く引き受け、支部活動に協力して頂ける先生方のおかげと感謝しております。今後も御協力をお願いすることがあると思いますが、宜しくお願い致します。

今年度の新人発表会では昨年に引き続き対面開催を実施。ポスター発表のみと今までにないことを取り入れ実施しました。その後の懇親会等会員同士の交流が実施できたことがうれしく思っております。今後もより一層の交流の機会を作れるように努力してまいります。会員の皆様には今後ともご迷惑をおかけするかもしれませんが、これからも運営委員一同結束し、取り組み解決してきます。今後とも中播磨支部活動および運営委員を宜しくお願い致します。

機関誌担当 かんざき訪問看護ステーション 鴨谷和明

会員の皆様にお願い

会員の異動動向や新人の就職動向の把握が県士会および支部の運営委員だけでは困難となってきています。近隣にリハ部門開設予定・開設した病院や新人が就職予定・就職した病院はありませんか？

何か情報がありましたら、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

中播磨支部事務局 段医院 木村公一

次回発行予定をお楽しみに！

